

# 特集

## 小中学校日食観察会企画

### ～所沢市の全市立小中学校日食観察会開催の紹介～

都築泰久（株式会社ビクセン 企画部）

#### 1. はじめに

2012年5月21日、埼玉県所沢市では全ての市立小中学校において、早朝から「金環日食観察会」が開催される。昨年12月、所沢市立小中学校校長会が「金環日食観察会」の全校開催を決定したためである。

ここでは、所沢市の小中学校日食観察会開催の経緯について、簡単に紹介をさせていただく。同様な観察会を企画される際の参考にいただければ幸いである。

#### 2. きっかけ

株式会社ビクセンとして、所沢市での日食観察会開催に向けて動きはじめたのは今年の春である。所沢市では2年前から「ところざわ星空フェスティバル」という、都市型星まつりイベントを、市の教育委員会主催、株式会社ビクセン協力という形で開催しているが、そのつながりから、市役所サイドの担当者に全校での日食観察会開催を相談したのがきっかけとなった。なお、当初に想定していたのは市内全小学校での開催であった。小学生には通学班での登校や開校時間の問題があり、積極的な“仕掛け”を用意しなければ、日食観察の場が提供されにくいと考えたからである。しかし、開催を検討する中で学校関係者に話を聞いたところ、中学校での開催要望もたいへん多かったことから、市内全小中学校での観察会開催を目標とするに至った。

#### 3. 日食観察会開催への交渉

最初に企画を持ちかけた先は市の教育委員会であったが、全校開催を教育委員会から各校に指示指導するのは困難である、個別に学校判断なら開催は可能であろう・・・といった内容の返答をいただいた。

教育委員会主導での全校開催は実現できなかったものの、ここで諦めず、市立小中学校校長会に企画を持っていったところ、校長会会長から「貴重な現象を子供たちにぜひ体験させたい」との賛同をいただいた。ここからはとんとん拍子に話が進み、昨年12月、「金環日食観察会」の全校開催を市立小中学校校長会で決定するに至った。

市役所の担当者も弊社も、各校個別開催ではなく全校開催にこだわったのは、他の市町村への波及を期待してのことである。人口約34万人、市立小中学校全47校を数える所沢市において日食観察会の全校開催を決定できるのであれば、日本全国の多くの街で同様な企画は実現可能になると考えた。

また各校個別開催の場合、4月の異動で校長先生が変わると計画された観察会が中止になる可能性もあるが、校長会の決定事項であれば、先生が変わっても観察会開催は無くない。

所沢市を前例としていただき、各地の校長会に働きかけるとするのは、ひとつの手であると考え。今回、所沢市では教育委員会主導→校長会主導での開催という検討過程を経たため半年以上の時間を必要としたが、校長

会への提案から全校開催決定までだけをみれば2ヶ月ほどである。したがって、学校観察会がまだ決まっていない地域でも、これから働きかけをすれば、5月21日に間に合う可能性は十分にあると考える。

なお、所沢市立小中学校校長会では、全校開催は決めたものの、具体的な実施方法は各校任せとして、決まりごとは設けなかったようである。したがって、強制力をもって生徒全員参加とするのか、あるいは任意参加なのかなど、日食観察会の内容は各校によって異なる。

それぞれの学校によって事情はあろうから、そのあたりをユルくしておくのは、“地域の全校で開催”を実現するポイントかもしれない。また、5月21日が運動会の代休予定日という学校もいくつかあった。こうした学校では、始業時間を早めての観察会ではなく、代休日

に学校をオープンして観察会、という形になるようである。

#### 4. おわりに

今回の「金環日食観察会」のため、弊社では市内全校の先生を対象に、「日食の安全な観察方法」をテーマとした講習会を4月末に行う予定である。

弊社は天文に関わる企業として、せっかくの日食という貴重な天文現象を、子供たちに体験して欲しいと願っている。頭上で金環日食が起きている月曜日の朝、ランドセルを背負った子供達が、黙々と列をなして道を歩いているのは見たくはない。

\* \* \* \* \*